

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2014年11月号 通巻71号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2014

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

ヒキガエル、都会を暗躍する

踏まれたり蹴られたりしてますが…



(左)2013年、善福寺公園で蹴飛ばしたアズマヒキガエル(本人)。ごめんなさい。
(右)2014年、大手町を散歩中のアズマヒキガエル。

たまにはタヌキやハクビシン以外の動物の話もさせてください。

ヒキガエルとの遭遇

都会にいる動物はタヌキやコウモリだけではありません。野鳥は当然としても、ヤモリやモグラ(モグラ塚)に遭遇することも珍しくはありません。そんな中でもぎょっとする動物がヒキガエルです。東京では亜種アズマヒキガエルが生息しています。カエルというと水場の動物というイメージですが、ヒキガエルは成体になると水場を離れて生活することができます。そのため都会の住宅地でも目撃することがあります。

何年か前の小雨の夕方のこと、私は神田川沿いの遊歩道(文京区)を歩いていた。すると、むにゅっと何かを踏んづけてしまいました。あちゃー、イヌのフンを踏んじまったか？ と思って靴の裏を見ても何も汚れていません。それに感触も何だか妙な感じでした。踏んづけた路上の茶色のかたまりをよく見てみると

それはアズマヒキガエルではありませんか。そのカエルは何事もなかったように歩き去っていきましたが、骨とか内臓は大丈夫だったのでしょうか？ かわいそうなことをしてしまいました。

また、昨年夏、善福寺公園にコウモリ観察に行った時のことです。大雨の後に池のそばを歩いていると、何かを蹴飛ばしてしまいました。その物体はころころころと数mも転がっていきました。さすがに今回は蹴飛ばした瞬間にヒキガエルだとわかりました。ヒキガエルは平気な顔をしていましたが申し訳ありませんでした。

そして今年。七夕の夜に日本橋川沿いを歩いてコウモリ観察をしていた時のこと。遊歩道上に何やら茶色の小型の物体があるではありませんか！ これはもうヒキガエル以外の何物でもありません。ここは千代田区大手町、隣は経団連会館、日本橋川の上を高速道路が走るという大都会のど真ん中です。ちょっと信じがたいことではありますが、このヒキ

ガエルは近くの水場から来たものとは私は推測しています。

タヌキとヒキガエルの関係

ヒキガエルは実はタヌキとも関係があります。タヌキはなんとヒキガエルを食べているらしいのです。ただ、ヒキガエルは背面に毒があります。そのためヒキガエルを丸ごと食べることはできません。ではどうするかというと、脚だけを食べてしまうのです。実際、脚をもがれたヒキガエルの目撃情報があり、その犯人はタヌキだろうと推測されるのです。残酷な話のようですが、都会のタヌキも生きていくためには必死なのです。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>